

災害ボランティアセンター運営研修会 in 北中城村

～地域協働型による災害ボランティアセンターを目指して～

本村において大規模災害が発生した場合、本島・県外からの支援が早急に届かないなどの状況が想定されます。そこで、行政や地域の関係機関と連携・協働した「地域協働型災害ボランティアセンターの設置・運営」を伊江村社協が担った場合に対応できるよう、防災士の資格を持つ職員2名が研修に参加しました。

災害VC設置運営訓練では、9つの班（総務、受付、オリエンテーション、マッチング、資機材、救護、ニーズ、ボランティア、避難者）に分かれボランティアや避難者を受け入れ、それぞれの役割や対応について学びました。今後、伊江村社協においても各関係機関と協力し、地域協働型災害VCの設置・運営訓練を行い大規模災害への備えをする必要があると強く感じました。



